

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

飯田市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県飯田市

3 地域再生計画の区域

長野県飯田市の全域

4 地域再生計画の目標

飯田市の総人口は、2005年の国勢調査で108,624人だったものが2015年の国勢調査では101,581人と減少傾向にある。住民基本台帳では2020年で97,039人となっている。国立社会保障・人口問題研究所による推計によると、本市の人口は2045年には75,411人になることが見込まれている。

年齢3区分別人口については、0歳から14歳までの年少人口と15歳から64歳までの生産年齢人口は年々減少し、65歳以上の老年人口は年々増加している。特に、生産年齢人口は2005年の国勢調査から10,000人以上減少しており、2020年の推計では52,318人（対前年比-756人）となっている。なお、同年において、年少人口は12,286人、老年人口は32,435人となっている。

本市の自然動態をみると、15歳～49歳の女性が減少傾向にあり、それに伴って出生数も減少傾向にある。死亡数は2009年の1,221人から増減を繰り返しながら推移している。2020年では出生数673人、死亡数1,320人で647人の自然減となっている。合計特殊出生率は2011年が1.63であるのに対し、2019年は1.75と上昇傾向にあり、長野県の1.57や国の1.42と比較しても高い数値を示している。

社会動態については、社会減の状態が続いており、2009年から2015年にかけては転入数と転出数の差が縮小傾向にあったが、2016年以降は差が拡大傾向にあ

る。2019年では転入数3,224人、転出数3,675人で451人の社会減となっている。

このまま人口減少が加速すると、地域コミュニティの衰退や地域経済活動の減速といった課題が生じる恐れがある。

これらの課題に対応するため、エス・バードの開業による地域産業の高付加価値化や人材育成の機能の強化、結いターン移住定住推進室の設置による相談者対応の強化、小中連携・一貫教育の推進とICTを活用した教育課題対応、人形劇を通じた国際交流、若者の結婚支援や子育て・保育環境の充実、市民に寄り添う各種の保健福祉施策などを重点に展開してきた。また、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の開通を控え、駅周辺の整備、二次交通の構築、良好な生活環境の保全にも取り組んで来ている。これらによりUIターン者の数は増加傾向にあるものの、人口増加策の効果は充分には表れていない。今後は、新型コロナウイルス感染症による市民の健康や経済活動を守る取組を最優先しながらも、目下のコロナ対策とともにアフターコロナも展望しつつ、人口増加につながる戦略を更に強化していく。

なお、これらの取組みを推進するに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- 基本目標1 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる
- 基本目標2 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる
- 基本目標3 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む
- 基本目標4 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む
- 基本目標5 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる
- 基本目標6 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標7 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
- 基本目標8 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
- 基本目標9 20地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める
- 基本目標10 個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる

基本目標 11 地域環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進

基本目標 12 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る

基本目標 13 リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	工業技術試験研究所利用件数 (件)	599	3,400 (累計)	基本目標 1
	飯田産業技術大学受講者数 (人)	618	3,800 (累計)	
	粗付加価値額 (飯田下伊那) (億円)	1,480	1,480	
	6次産業化総合化事業計画認定件数 (件)	3	4 (累計)	
	ネスクイイダ取引成約金額 (億円)	10.3	40 (累計)	
	直売所の八百屋機能を活用した店舗数 (店舗)	2	10 (累計)	
	マッチングシステムへの案件登録件数 (件)	1	40 (累計)	
	産業センター専門家が支援する新分野・新事業に取り組む企業数 (社)	67	200 (累計)	
	信州大学社会人スキルアップ講座 (食品・電気) 修了者数 (人)	12	40 (累計)	

I-Portにより成立する創業・新事業展開・事業転換の件数（件）	0	20（累計）
信州大学共同研究講座 学位取得者数（人）	3	24（累計）
エスバード内共創の場 利用者数（人）	2,461	12,000（累計）
新規就農者数〔自営・法人就農〕（人）	6	30（累計）
ビジネスプランコンペにより成立する起業の件数（件）	4	20（累計）
市田柿出荷量〔南信州〕（t）	2,094	2,300
市民農園の利用区画数（区画）	210	240
1日農業バイトマッチング件数（件）	228	1,000
森林資源活用推進事業 実施件数（件）	12	30
間伐面積（ha）	300	1,200 4年間累計
天龍峡の観光入込客数（人）	331,500	376,000
遠山郷の観光入込客数（人）	134,500	250,000
観光消費額（単位：百万円） （長野県観光地利用者統計）	1,069	1,250
ワークライフバランス推進 企業懇談会への参加企業数 （社）	-	16
職場いきいきアドバイスカ	9	13

	ンパニー認証企業数（社）			
	企業立地（振興）促進事業補助金交付対象企業の雇用人数（人）	91	96（累計）	
	企業誘致数（社）	2	4（累計）	
イ	VisitIIDA.com サイトユーザー数（ユーザー）	461	1,000	基本目標 2
	IIDA2027 ツイッターフォロワー数（人）	1,998	3,000	
	中心市街地の歩行者・自転車通行量（人／日）	9,475	10,215	
	新規高卒者の地域内就職率（%）	20.60	25.00	
	新規大学等卒業者の地域内就職率（%）	18.20	25.00	
	高等教育機関の学生に情報発信できるインターンシップ受入企業数（社）	20	40	
	「つなぐ」事業のSNSフォロワー等の数（人）	700	1,700	
	新規移住相談件数（件）	233	280	
	U I ターン移住者数（人）	114	136	
	「20地区田舎へ還ろう戦略」で関係人口拡大の取組を行った地区数（通常ベースの活動は除く）（地区）	13	20	
ウ	全国学力・学習状況調査における小6国語、算数、中3国語、数学の全国平均比較	小6国○ 算数○ 中3国△	小6国語○ 算数○ 中3国語○	基本目標 3

	(◎… \geq +2点、○…+2点>-2点、△… \leq -2点)	数学△	数学○	
	全国学力・学習状況調査における「自分には良いところがあると思いますか。」に対する回答結果の全国平均差(点)	小6年△1 中3年△3	小6年±0 中3年±0	
	不登校児童生徒在籍比(%)	小 0.87 中 3.91	今年度実績-前年度実績=△0.01	
	学校給食における飯田下伊那産野菜主要10品目使用率(%)	54.1	55.0	
	授業以外に1日10分以上読書をしている児童生徒割合(%)	小6-67.1 (県69.0) 中3-55.6 (県57.1)	小6 69.1 中3 57.2	
エ	住んでいる地区や飯田市の自然、歴史、文化等に誇りや愛着がある人の割合(%)	69.2	74.3	基本目標4
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある(%) (全国学力・学習状況調査)	小6 55.9 (県 57.0) (国 4.50) 中3 40.0 (県 43.9) (国 39.4)	小6 57.1 中3 44.0	
	人の役に立つ人間になりたいと思う(%) (全国学力・学習状況調査)	小6 95.5 (県95.3) (国95.2)	現状を維持小6 95.5 中3 95.0	

		中3 95.0 (県94.8) (国94.3)		
	地域資源（指定文化財等）の活用件数（件）	41	50（指定文化財数の1/4）	
	霜月祭・伝統人形芝居の保存会員数（人）	202	現状を維持202	
オ	市内で上演した人形劇公演数（件）	498	500	基本目標 5
	人形劇を通じて交流した国内外の交流数（回）	11	15	
	文化活動を1回以上行っている人の割合（%）	63.9	65.0	
	社会教育団体（文化・芸術・芸能活動）申請登録会員延べ数(人)	7,692	8,000	
	成人の週1回以上スポーツに親しむ人の割合(%)	48.2	-50.0	
	子どもの体力・運動能力調査におけるA・Bの割合(%)	38.5	全国値以上43.3	
	全市型競技別スポーツスクールの種目数	13	16	
カ	婚姻件数（件）	470	500	基本目標 6
	出生数（人）	726	654	
	合計特殊出生率	1.75	1.84	
	乳幼児健診・乳幼児相談の受診率（%）	95.8	96.0	

	産後の指導・ケアを十分に受けることが出来たと回答する人の割合 (%)	93.4	95.0	
	未満児保育(0-2歳児)の受入れ数(人)[毎年12月末日現在]	1,256	1,294	
	信州やまほいく認証施設数(園)	23	25	
	産みやすいまちだと思ふ人の割合 (%)	36.60	40.0	
	育てやすいまちだと思ふ人の割合 (%)	69.70	71.0	
キ	国民健康保険加入者の特定健診受診率 (%)	42.3	50.0	基本目標 7
	企業等に行う出前健康講座の新規団体の件数(企業)	1	20(累計)	
	要介護認定者数・出現率	6,148人 18.73%	6,490人 19.83%	
ク	創出される地域福祉活動のモデル数	45	85	基本目標 8
	地域福祉課題検討会開催地区数(地区)	13	20	
	重層的支援相談件数(件)	-	120	
	障がい者の社会参加を促進する事業への参加者数(人)	600	1,000	
ケ	中期期間中に地区基本構想・基本計画の改定・見直しを行った地区数(地区)	—	7(累計)	基本目標 9
	中期期間中に新たにまちづ	—	20	

	くり委員会の組織・事業の見直しを行った地区数（地区）			
	まちづくり委員会が関わる地域運営組織数（特別委員会、NPO等、任意組織）	46	50	
	自治活動組織への加入率（%）	71.3	73.0	
	中期期間中に加入促進コーディネーター活動で自治活動組織への加入に至った件数（件）	—	840（累計）	
	「飯田市20地区応援隊」の寄附件数（件）	51	60	
	「20地区田舎へ還ろう戦略」により5人以上の移住者の誘致が実現した中山間地区数（地区）	—	7	
コ	市民活動・地域活動に参加している市民の割合（%）	62.7	66.0	基本目標10
	NPO法人数（団体）	60	64	
	ムトス事業助成支援件数（件：累計）	33	140（2021～2024年）	
	審議会・委員会等への女性委員の比率（%）	29.1	30.0	
	住民自治活動組織（まちづくり委員会等）の女性委員の比率（%）	32.8	37.0	
	市役所の係長相当の職責の	33.3	39.0	

	女性比率 (%)			
	他地域(外国を含む)からの人を受け入れる市民の割合 (%)	77.6	80.0	
	新たな市民交流活動拠点の構築 (か所)	-	1	
サ	二酸化炭素排出量削減割合 (%) [2005年比]	26.20	35.2	基本目標11
	市内の太陽光発電電力量が一般家庭の年間電力消費量に占める割合 (%)	33.32	46.41	
	一人一日当たり排出ごみ量 (g)	579.7	552.3	
	ごみ分別アプリダウンロード数	1,500	5,000	
	環境に関する学習会や知識を高めるような行事に参加している人の割合 (%)	27.4	35.0	
	日常的に省エネや節電のための取組を実践している市民の割合 (%)	80.9	88.0	
シ	防災訓練に参加した市民の割合 (%)	46.76	60	基本目標12
	率先安全避難者登録者数 (人)	-	100	
	策定義務対象となる要配慮者施設避難確保計画策定割合 (%)	62.7	100	

	橋りょう長寿命化修繕完了数	7	84	
ス	リニア駅周辺整備の実施設 計進捗率 (%)	25	100	基本目標13
	座光寺SICの整備率 (%)	69	88	
	市内EVバスの導入台数 (台)	1	2	
	公共交通利用者数 (人)	373,711	358,000	
	新たな行政電子サービス	-	4	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

飯田市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる事業
- イ 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる事業
- ウ “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む事業
- エ 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む事業
- オ 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる事業
- カ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- キ 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす事業
- ク 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる事業
- ケ 20地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める事業

- コ 個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる事業
- サ 地域環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進事業
- シ 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る事業
- ス リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する事業

② 事業の内容

ア 稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる事業

- ・地域産業の持続可能な成長を目指し、産業振興と人材育成の拠点であるエス・バードの機能を活用して、地域産業の高付加価値化に取り組み、外貨獲得と域内発注・域内調達・域内消費による域内経済循環を推進する事業。
- ・新型コロナウイルス感染症に負けない地域産業を構築するために、新たなビジネスモデルへの転換や事業承継等に取り組む事業者を支援するとともに、「環境・エネルギー」「福祉・医療」分野の産業創出を進め、様々な分野における地域産業の将来を支える担い手、起業家の育成する事業。
- ・外貨を稼ぐ農業を振興するとともに、「農ある豊かな暮らし」が広がる取り組みを推進し、市民が農業の持つ多面的機能への理解を深め、地域が支える農業を実現する事業。また、豊富な森林資源を活用する視点に立ち、地域産材や間伐材が有効活用される仕組みづくりに係る事業。
- ・アフターコロナにおける南信州地域全体の観光振興に向けて、遠山郷、天龍峡やリニア開業により玄関口となる中間駅周辺をはじめ、各地域が持つ特色ある資源を生かして、魅力づくりに取り組む人たちを支援するとともに、様々なニーズに対応できる「旅の目的地」となる魅力を発信することで人を呼び込み、観光消費を促し、結果として観光従事者が増えるなど地域経済の振興に繋がる取組に係る事業。
- ・多様な働き方を認め、働きやすい環境づくりを推進するために「ワークライフバランス改革」を企業とともに進める事業。

- ・コロナ禍における地方への移転と分散の動きをとらえて、産業用地等の整備やエス・バードの活用など、地域の強みを生かした企業・オフィス誘致事業。

【具体的な事業】

- ・農畜産物ブランド向上・6次産業化推進事業
- ・天龍峡まちづくり支援事業 等

イ 飯田の魅力を発信し、つながる人を増やし、飯田市への人の流れをつくる事業

- ・交流人口、関係人口の拡大を目指し、飯田のブランド力を向上する様々な取組を支援するとともに、飯田の魅力を市民と共有しつつ、地域外の方々に認知し共感してもらうための情報発信する事業。
- ・暮らしと交流のステージである中心市街地の魅力を磨き、空き店舗の活用を始め、既存のストックを生かした「歩く人が中心の賑わいのあるまち」づくりを進め、関係人口の増加を目指す事業。
- ・高校生や大学生と地元企業とを「つなぐ」事業を推進し、地域と若者の関係を深め、地元企業の人材確保をサポートし、若者の回帰定着を進める事業。
- ・地域の魅力や実現可能なライフスタイルを発信するとともに、職・住・暮らしの個別相談、地域の受入環境づくり、移住後の支援を行い、移住定住を推進する事業。
- ・各地区が特徴を生かして交流人口・関係人口・移住者の増加を目指す「20地区田舎へ還ろう戦略」を、地域と行政が協働して進める事業。

【具体的な事業】

- ・IIDAブランド推進事業
- ・中心市街地活性化推進事業 等

ウ “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む事業

- ・お互いを認め合い、安心して学べる学級づくりを目指し、子どもたちの学力の保障・向上と不登校対策のため、小中連携・一貫教育を進め

る事業。また、コロナ禍への対応を含め、全ての教育活動を通じてICTの活用を推進する事業。

- ・日常生活における自他の尊厳を尊重する態度を育成し、互いを認め合える温かな人間関係づくりと個に寄り添った誰ひとり取り残さない教育や支援を推進する事業。
- ・飯田コミュニティスクールを活かし、地域・学校・家庭がそれぞれ当事者意識を持って協働し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進める事業。
- ・児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、通学路安全対策や環境整備を進めるとともに、気候変動に適応した校外活動に取り組む事業。
- ・学校給食の地産地消、有機食材の導入拡大と、献立に地域の旬の食材や郷土食、行事食を取り入れる工夫に努めながら、学校給食を活用した食育に取り組む事業。
- ・子どもが読書を楽しみ、感性や言葉を豊かにし、想像力、表現力や情報を活用する力をつけられるよう、乳幼児期から発達段階に応じて読書体験の充実に取り組む事業。
- ・就労等で放課後保護者等が不在となる家庭の児童の居場所づくりのため、児童支援員の確保や適切な配置に努めるとともに、4年生以上高学年の受入希望にも対応できる組織・体制づくりを進める事業。
- ・児童生徒の減少や学校施設の老朽化が進んでいる中で、地域に根差した飯田らしい教育環境が展開され、将来にわたり子どもたちが主体的に学び合う場とするためには、どのような学校がよいのか、子どもたちの未来のため、みんなで考えていく事業。

【具体的な事業】

- ・人間関係づくり支援
- ・飯田コミュニティスクール推進事業 等

エ 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む事業

- ・住民の自治の力を高め、地域の担い手を育むため、住民の主体的な

「地域の自然や文化などの地域資源を生かした学習や地域の課題解決に向けた学習」を支援する事業。

- ・ L G (地域・地球)飯田教育の理念や地育力を活用した環境学習、ふるさと学習、体験学習等を幼児期から高校まで体系立て、子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育み、多様な自己実現の可能性を広げる事業。
- ・ 飯田の価値と魅力を学び次代に繋げると共に、その素晴らしさを発信する事業。
- ・ 民俗芸能などの伝統文化や恒川官衙遺跡、飯田古墳群、名勝天龍峡などの地域資産を地域の宝として守り、発信する事業。
- ・ 誰もが安全で快適に利用できる社会教育施設の整備やサービスを向上させる事業。

【具体的な事業】

- ・ 平和学習・人権教育推進事業
- ・ 文化財保護事業 等

オ 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる事業

- ・ 人形劇の公演・創造活動を楽しみ、その魅力を発信するとともに、「人形劇のまち」を改めて強くアピールし、国内外との交流を進める事業。
- ・ 多様な文化芸術の鑑賞機会や文化芸術活動の取組の充実を進める事業。
- ・ 飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進める事業。
- ・ 市民の様々なスポーツ活動を支援し、発信するとともに、スポーツや運動習慣の定着と、スポーツを通じたコミュニティづくりを進める事業。また、飯田市の特徴を活かしたスポーツイベントを開催する事業。
- ・ トップアスリートの指導やプレーに触れる機会、スポーツ指導者の育成などを通じて、競技スポーツ人口を拡大し競技志向を高める事業。また、地域でトップアスリートを育てることができる取組を目指す事

業。

- ・全市型競技別スポーツスクールなど中学生期におけるスポーツの多様な選択肢を充実させる事業。
- ・誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備やサービスを向上させる事業。

【具体的な事業】

- ・人形劇のまちづくり事業
- ・市民スポーツ推進事業 等

カ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

- ・結婚し家庭を持ちたい希望の実現に向けて、各種の出会いの機会の創出を図るとともに、結婚相談などのサポートを強化する事業。
- ・産み育てたいと思う子どもの数の希望の実現に向けて、分娩の選択肢の多様化に伴う体制の整備や産後ケアの充実を図るとともに、不妊治療に対する助成を強化する事業。
- ・児童虐待の予防・早期発見・総合的支援を行うとともに、発達に偏りのある児童の子育て相談支援を充実させる事業。
- ・コロナ禍において一層懸念される「孤」育てを解消するため、父親、祖父母などの家族をはじめ、地域のあらゆる世代が地域の子育てに参加できる仕組みづくりを推進するとともに、家族みんなで楽しむ子育て情報発信の強化を図る事業。
- ・産休・育休後の職場復帰の希望の実現に向けて、事業所における働き方改革を促す事業。
- ・共働き世帯・ひとり親世帯が安心して子育てできるよう、多様な手法を活用しつつ3歳未満児保育・保育標準時間の充実を図るとともに、スタッフの人材の確保と育成を推進する事業。
- ・豊かな自然や地域資源を活用してたくましい心と体・自己肯定感と協調性を育む「いいだ型自然保育」の魅力を発信する事業。

【具体的な事業】

- ・ともに未来を支え合うパートナーづくり事業
- ・地域子育て支援事業 等

キ 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす事業

- ・市民一人ひとりが、心身ともに健やかに暮らすために、市民（個人・家族）、地域（団体・機関等）、行政（専門職）等の多様な主体が一緒になって役割を発揮し、健康長寿のまちをつくる事業。
- ・若い世代や働き盛り世代において生活習慣病の重症化予防に取り組むほか、口腔衛生（お口の健康）の強化や健康ポイント制度の導入、また高齢者の多様な社会参加を促すなど健康増進に効果的な取組を強化し、人生100年時代を生き生き暮らす「幸」齢社会をつくる事業。
- ・健康寿命が延伸されるまちづくりに向け、第8期介護保険計画の下、介護予防に一層力を入れるとともに、必要な方に介護サービスが届くよう努める事業。
- ・新型コロナウイルス感染症等の蔓延により当地域の医療崩壊を招かないよう、医療機関と連携し、検査・医療体制の維持と充実を図る事業。

【具体的な事業】

- ・市民の健康づくり事業
- ・高齢者健康づくり事業 等

ク 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる事業

- ・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域共生社会の実現を目指して、地域住民や多様な主体と協働で地域福祉を進める事業。
- ・横断的な課題や現在の福祉制度の狭間の課題に対して、丁寧な対応ができる包括的な支援体制を構築し、必要とする支援につなげ、課題解決に向けて取り組む事業。
- ・障がい者の社会参加を進めると共に、誰もが暮らしやすい社会を目指してユニバーサルデザインを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・地域福祉推進事業
- ・障がい者福祉推進事業 等

ケ 20 地区が輝く生き活きとした地域づくりを地域主体に進める事業

- ・ 20地区の基本構想と基本計画の実現に向けて、それぞれの地区が個性を生かして魅力的な地域をつくる取組を支援する事業。
- ・ コロナ禍を乗り越え、時代の変化に対応していくための自治活動組織の改革改善の取組を支援する事業。
- ・ 地域課題への対応や地域の魅力づくりに取り組む運営組織の立ち上げと活動を支援する事業。
- ・ 地域の担い手を確保し活力を維持するため、関係人口と移住・定住人口を拡大する「20地区田舎へ還ろう戦略」を推進する事業。
- ・ 中山間地域が持続的で元気ある地域であり続けるための取組を、地域と行政の協働により進める事業。

【具体的な事業】

- ・ 地域自治組織運営事業
- ・ 中山間地域振興事業 等

コ 個性を尊重し、多様な価値観を認め合い、活動の場を広げる事業

- ・ 地域の活力を生み出す市民活動が広く行われるよう、誰もがチャレンジができ、交流を通じて活動の輪が広がっていくことを目指す事業。
- ・ 国籍や性などの多様性を認め合い、共に支え合い、共に生きることによって、誰一人取り残されない地域社会を目指す事業。
- ・ 女性や若者や外国人住民を含めた多様な市民が集い、交流し、活動の輪を広げるための拠点づくりを行う事業。

【具体的な事業】

- ・ 市民協働推進事業
- ・ 多文化共生社会推進事業 等

サ 地域環境への配慮が当たり前の暮らしとまちづくりの推進事業

- ・ 「ゼロカーボンシティ」を目指し、二酸化炭素の排出を減らす生活や事業活動への転換を進めていくため、再生可能エネルギーの域産域消費や、飯田市版ZEH(ゼロエネルギー住宅)の普及、グリーンリカバリー(緑の復興)による地域の成長をテーマにした共創の場づくりなどの取組を地域ぐるみで進める事業。

- ・気候変動、生物多様性、廃棄物など身近に迫る環境問題への理解を深める環境学習を多様な世代で推進し、生活をより心豊かで環境にやさしいものにしていく実践の輪を広げる事業。
- ・「もったいない」を常に心がける意識を広め、3R（リデュース（減量）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化））の実践をすすめる、地球規模の課題である温暖化対策や海洋プラスチックとフードロスの削減に地域ぐるみで貢献する事業。
- ・リニア駅周辺を、暮らす人が住みやすく、誰もが訪れてみたい環境文化都市を感じられるモデル地域とするための取組を進める事業。

【具体的な事業】

- ・省エネルギー推進事業
- ・地域エネルギー普及事業 等

シ 災害や社会リスクに備え、社会基盤を強化し、地域防災力の向上を図る事業

- ・市民が安全・安心に暮らせるまちを目指し、地域防災力の向上、地域で取り組む防災・減災のまちづくりなど、自助・共助を支援する環境整備に取り組む事業。
- ・地域防災力の要である飯田市消防団の体制強化を図る事業。
- ・暮らしを支える社会基盤の長寿命化と安全対策を図り強靱化を推進すると共に豪雨等の自然災害に対する備えを強化する事業。
- ・災害復旧や社会基盤の維持修繕を担う技能・技術者など担い手の育成支援及び技能・技術の伝承を意識した工事発注や研修体制構築に取り組む事業。
- ・公共インフラの整備において、自然生態系に配慮した工法や緑化等のグリーンインフラの考え方を取り入れる事業。

【具体的な事業】

- ・防災対策推進事業
- ・交通安全施設整備事業 等

ス リニア・三遠南信時代を支える都市基盤を整備する事業

- ・リニア・三遠南信時代を見据えた土地利用について、住民の合意形成

を図りながら、全市的な視点で取り組む事業。

- ・ 県内唯一のリニア中間駅として、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の整備効果を地域振興に活かすことができるよう、関係者の意向や環境影響等に十分配慮しながら、リニア駅周辺や座光寺スマートIC及び関連施設道路等の施設整備を進め、広域交通拠点の整備と広域的道路ネットワークの強化をはかる事業。
- ・ 目的地へスムーズに誘うことができ利便性も高いリニアの2次交通や持続可能な公共交通の構築を進めるとともに、この地域らしいスマートモビリティの実装に向け、AI（人工知能）やIoT（インターネットオブシングス）の技術の活用展開について研究する事業。
- ・ 市民や来訪者の利便性、安全や安心の向上等に資するデジタル化や先端技術活用の可能性を研究し、実装可能なことから実践する事業。

【具体的な事業】

- ・ 都市計画推進事業
- ・ 交通体系整備事業 等

※ なお、詳細はいいだ未来デザイン2028戦略計画のとおり。

※ ただし、地域再生計画「信州大学航空機システム共同研究講座における学生及び講座運営支援計画」の5-2の(3)に位置付けられる事業を除く。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標(KPI)）

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

10,400,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月頃から外部有識者等で組織するいいだ未来デザイン会議において効果・成果の検証を行い、検証後は速やかに本市公式Webサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで